

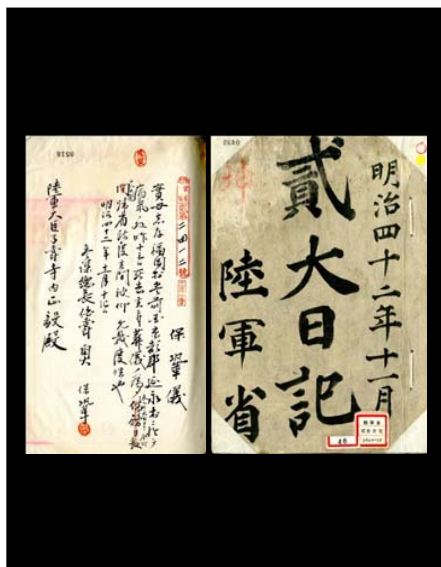
平成 24 年度は、歴代陸軍参謀総長及び海軍軍令部長の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

《 <sup>おく やすかた</sup> 奥 保鞏 1847～1930年 《  
一師団長、軍司令官として日清、日露戦争を戦った名将一



陸軍始観兵式に関する命令（登録番号：陸軍省一雑-M32-3-72）

奥保鞏元帥は、明治 5 年 4 月、陸軍大尉に任官、その後、第 5・第 1・近衛師団長、軍事参議官、第 2 軍司令官、参謀総長等の要職を歴任しました。この史料は、陸軍始観兵式諸兵指揮官の同元帥（当時中将、東京防禦総督）が観兵式参加部隊に対して下達した明治 32 年 12 月 29 日付「明治三十二年一月九日 陸軍始観兵式二關スル命令」です。「來ル一月九日陸軍始二付青山練兵場ニ於テ観兵式ヲ舉行セラル之ニ列スル諸團隊ハ同日午前九時三十分マテニ第一圖ノ如ク整列ス可シ」、「閱兵終レハ・・・別名ヲ俟タス第二圖ノ如ク・・・分列ノ準備ヲナスヘシ」として要図が添付されています。同観兵式は明治天皇親臨のもと近衛師団、第 1 師団及び在京の諸隊をもって挙行されました。



本部 奥大将休暇願の件

（登録番号：陸軍省一貳大日記-M42-23-46）

この史料は、奥元帥が参謀総長（当時大将）当時に陸軍大臣の寺内正毅大将に提出した明治 42 年 11 月 14 日付の休暇願です。「保鞏儀 實母・・・昨十三日死去候ニ付葬儀ノ為メ來ル十六日ヨリ全式十八日迄帰省致度候間被仰允裁度候也」として、同 16 日から 28 日迄の間、実母の葬儀のために帰省したい旨願い出ています。当時、休暇は「陸軍軍人休暇規則」によって定例休暇、慰労休暇、褒賞休暇、請願休暇に区分されており、将校（同相当官）の請願休暇は、軍事研究の為の外国旅行、傷痍、疾病、転地療養、やむを得ざる事故の場合にのみ許可されていました。同元帥の休暇願は翌 15 日に請願通り許可されました。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。  
詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

- ※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。  
防衛研究所企画部企画調整課  
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）  
外線：03-3713-5912  
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp
- ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>